

2011年～2012年
茅ヶ崎中央ロータリークラブ

会長方針

第28代会長 小川一雄

2011～2012年度 カルヤン・バネルジーRI会長 テーマ

「Reach Within to Embrace Humanity」

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

【友好と絆を深めよう】

R I 会長のテーマの下、人類は全て平等に愛すべしとする精神を念頭に置きクラブを見つめ、広く前進できるように努力を重ね「家族」「継続」「変化」という三つの強調事項を考えていきたい。

《クラブ方針及び計画》

家族

- ①会員・会員家族の親睦の強化。(家族参加のプログラムの強化)
- ②姉妹クラブ・友好クラブとの積極的な奉仕活動をふくめた交流を目指す。

特に来年3月31日に台北北門ロータリークラブの25周年行事が台湾で開催予定です。

震災への多額の寄付のお礼も兼ねて、できるだけ多くのメンバーが家族を連れてこの行事に参加することを目指します。

継続

- ①AMD Aとの継続的な関係形成を目指す。
緊急時クラブ内の連絡・対処方法をアムダとの連携も含めてマニュアル化する。
- ②長期計画検討委員会を30周年に向けての組織委員会と位置づけ、30周年に向けての準備を進めいく。

変化

- ①新組織・新細則のもとでの初年度であり、これを定着させるよう努力し、もし問題があればこれを改善する。
- ②会員増強に努め女性会員の入会を目標とする。
- ③I Tの活用と広報の充実を計る。

幹 事

山 本 泰 然

当クラブの他のクラブ同様高齢化が進んでおります。それに従って、同好会活動もだんだんと少なくなっているのが現状です。ロータリーの基本である親睦活動が停滞していると感じております。そこで、今年は積極的に親睦活動を推進していきたいと思っております。様々な親睦活動を通じて再度クラブの中の絆を深め、その集大成として台北北門ロータリークラブ25周年に出来るだけ多くの会員家族とともに行くことを目標に1年頑張っていきたいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。

会場監督

吉 沢 昭 平

改定「クラブ細則」によれば「会場監督」の任務は次の通りとなっている。

- ・クラブ会合を秩序正しく品位あり、かつ能率的に維持することに助力し、クラブへの来訪者・来賓に良い印象をあたえるようにする。
- ・その他通常その職に付随する諸事項、および会長・理事会によって指定された責務を果たす。
- ・なお、会場監督はその任務を遂行するために、理事会の承認の下に若干の副会場監督を選任できる。

1. 例会(通常)の進行について(案)～概ね「60分間以内」を目処とする。

- (1)点鐘…「会長」が点鐘、全員が起立する
- (2)開会宣言…「会長」が例会の開会を宣言する
- (3)ロータリーソング斉唱…「会長」が歌唱名を指定し、「クラブ奉仕委員会」の担当歌唱指導者を指名する。
- (4)来訪者の紹介(あれば)…「会長」が紹介する
- (5)出席者の発表…「会長」が「クラブ奉仕委員会」の担当者を指名する
- (6)幹事報告…「幹事」が発表
 - ・来信(地区、他クラブ等より)
 - ・告示事項(理事会決定事項、次回例会、移動例会等)
 - ・委員会報告…「幹事」が報告事項のある「委員長」を指名する。
- (7)審議事項(あれば)…「会長」が進行
- (8)卓話(30分以内)…「会長」指名の紹介者が講師を紹介する。

2. 例会の会場について

- ・「移動例会」は「出席率」が悪いので、年4回の休会規定を活用し、会場の変更は極力避ける。
- ・そのため、「パナソニック」(P)と食事内容も含めた事前打合に念を入れ、やむを得ず変更する場合は早め(2ヶ月前)の周知を徹底する。
- ・具体的には、3月下旬に年間のスケジュールを(P)に提示し、4月最終週の例会時に(P)と打ち合わせを持ち6・7月の予定を確定する。
以降毎月2ヶ月単位でローリングし、予定を確定していく。
- ・やむを得ず「移動例会」とする場合は、会場の都合により「点鐘」・「歌唱」を省略することもあり

うる。

- ・例会場の事前準備、出席報告は「クラブ奉仕委員会」当番(4班)が行う。

3. 服装について

7・8・9月及び6月は従来どおりカジュアル例会とし、その他の月は、ジャケット着用であれば来客に失礼でない範囲で、必ずしもネクタイ着用でなくともよいこととしたい。尚、仕事着での出席は無論許容される。

但し、靴については、できるだけスニーカーは避けるように心がけたい。

4. 来訪者の接遇について

- ・接遇は原則として「会場監督」が「クラブ奉仕委員会」席で同席するが、「会場監督」不都合の場合は「副会長」がこれにあたる。
- ・会員に「来訪者」の面識者がいる場合は可能な限り同席する。

5. 卓話の基本方針

- ・4月までに、「クラブ奉仕委員会」で年間の大まかなスケジュールを立案し、外部講師謝礼を予算化(3万円／回×12回=40万円 程度)する。
- ・外部講師については、月別のバランスを考慮しつ、当面少なくとも1回／月とし、具体的な内容を3ヶ月前から詰め、準備に万全を期す。
- ・なお、予算不足が想定される場合は会員講師による卓話を予めスケジュール化しておく。

6. クラブフォーラムの位置づけ

- ・クラブ内で、自由に発言できる機会を増やすため、随時卓話の時間を活用してフォーラムの機会を増やす。
- ・7・8・9月を「クラブにのぞむこと」をテーマに全員に登壇して発言してもらい、今後のクラブ運営の参考にしたい。
- ・尚、四委員会の活動方針、活動報告等について、従来通り2～3回／年程度卓話の時間に設定する。

7. クラブ協議会の位置づけ

- ・ガバナー補佐訪問時に、例会と切り離して例会後1時間程度場所を移して(パナソニックの会議室を借りる)理事会メンバーがガバナー補佐を囲んで報告・協議する。
<注>ガバナー訪問時の卓話は例会内に30分程度行う。
- ・その他必要に応じて(クラブ細則改定等のテーマがある場合)例会と切り離して例会後開催する。

8. 年次総会について

- ・12月第一例会開催の年次総会は通常例会時間内で行い、出席者の確保・予算の節減の観点から旅行を含めた形は取らない。

9. 例会の席配置

今年度は、組織改定の初年度に当たるため年間を通して四委員会が夫々同じテーブルに纏まるよう配慮する。(5～6名／テーブル=8テーブル)

- (A)テーブル…会長、エレクト、副会長、直前会長、幹事(1テーブル)
- (B)テーブル…奉仕プロジェクト委員会(1～2テーブル)

- (C) テーブル…クラブ増強委員会（1～2 テーブル）
- (D) テーブル…クラブ奉仕委員会+来訪者（3 テーブル）
- (E) テーブル…ロータリー情報委員会（1 テーブル）

10. 理事会について

- ・原則として「月末の例会後」に「1時間以内を目処」に開催することとする。
 - ・以下を議題とし副幹事が書記となり、次例会で幹事が報告し週報に掲載する。
 - (1) 会長・幹事よりの指示事項
 - (2) 四委員会よりの活動計画進捗状況報告と今後の予定
 - (3) 重要事項の審議・決定等
- 尚、「開催通知」は事務局より一週間前までにメンバーに通知し、メンバーは資料を用意して出席する。

11. 会合通知の周知徹底

- ・クラブにおける全ての会合は、関係者が原稿を作成の上「事務局」に連絡し、「事務局」が会長名の「開催通知」として、少なくとも一週間前には必ず「メールボックス」に投入する。（出欠は必ず事務局で把握する {回覧禁止}）
- ・尚、例会欠席者については、事務局がその他の資料と一緒に「郵送」することを検討する。

奉仕プロジェクト委員会

委 員 長	堀 川 正 夫
社会奉仕担当リーダー	石 田 忠 勝
国際奉仕担当リーダー	加 藤 順 一
新世代奉仕担当リーダー	丸 山 孝 明
委 員 高 橋 功	本 間 多桂泰
高 橋 正 純	山 口 洋一郎
森 下 行 由	山 谷 立
山 本 泰 然	田 中 重 光

CLPに移項した初年度ということもあり、委員会の運営の先がみえないのが現実ですが、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕この3奉仕部門を担当させて頂きます。東北大震災、茅ヶ崎地域の社会奉仕事業、国際を巻き込んでのマッチンググランド、新世代と共にロータリー活動の活性化、具体的プロジェクト、予算等は今日決められませんが、2011年6月23日東北大槌町を委員会で下見をしてクラブで何ができるか会員皆様で考えてみたいと思います。その他に奉仕予算の獲得の為のイベントを皆様で知恵を出していただきたいと思います。奉仕事業はクラブの要と認識し委員会一同情熱を持って取り組みます。全員野球で頑張ります。

クラブ増強委員会

委員長	藤原琢也
リーダー	山口健
リーダー	前川義憲
リーダー	倉知克則
委員長	田洋二
沼上憲雄	鈴木和男
峯山文明	赤間浩正
	山田悦子

小川会長年度のCLP導入に伴い、会員の情報等を地域に発信しながら、会員増強のために、クラブ会員情報担当、会員増強・選考・分類担当、職業奉仕担当の3部門の構成で活動し、クラブ内の活性化と会員増強（3名以上）をして参ります。

毎月実施されているロータリー研究会を通じて、新人メンバーのみならず、中堅、ベテランメンバーにも積極的に参加をして頂き、意見交換、情報交換を行いながら、ロータリーの魅力、会員増強の必要性、職業奉仕の理念を再認識する場として活用してほしいと思います。

クラブ奉仕委員会

委員長	倉澤条太
副委員長	吉沢昭平
プログラムリーダー	當間安弘
親睦リーダー	内田謙郎
姉妹・友好クラブリーダー	松岡慶純
委員佐川悌吉	岩橋祥江
城田安正	村越果
岡崎将剛	小島忠男
木村康治	山宮契谷
堀口昌信	三澤護
出山和夫	吉沢昭平
神尾元洋	

CLP導入に伴い、例会運営全般を担当いたします。会員皆様のご協力、よろしくお願ひ申し上げます。

〈例会運営体制〉

委員会メンバーを3班に分け、4ヶ月づつ担当。

(会場設営・受付・接待・ソングリーダー・出席報告)

準備・実施の必要人員、以下5名が会場監督と一体となって運営。

・班長・全体監督・・・・・・1名（会場監督の補佐も兼務）

- ・セッティング・BGM・・・2名
 - ・ソングリーダー・・・・・・1名
 - ・受付・出席報告・・・・・・1名
- (担当月の卓話講師選定についても当番班が応援担当する。)

〈出席率の改善〉

最近の当クラブの出席率は75%前後(第4G85%)と低迷。

現状の分析、メークアップ推進、例会の時間帯などの見直しを協議し出席率改善を図る。

〈プログラムについて〉

- ・7・8・9月は、各会員による「クラブにのぞむこと」の意見発表を行う。
- ・会員スピーチ(計7回)を企画する。(5分×6~7名)
- ・卓話は会員講師とは別に、毎月一回程度は外部講師による卓話を企画する。

〈親睦活動について〉

親睦リーダーと当番担当班を中心に企画実施する

- 7月 ハワイアンの夕べ
 - 10月 秋の夜嘶
 - 12月 クリスマス家族例会
 - 1月 新年移動例会
 - 2月 創立記念例会
 - 3月 台北北門R C 25周年創立記念
 - 4月 炉辺会合
 - 6月 最終例会(会長・幹事慰労家族例会)
- その他
- 茅ヶ崎湘南R Cとの合同例会
 - 家族会の企画

〈週報について〉

現在ITにて配信している二つの情報は「週報」としてプログラムリーダーが編集し、プリントアウトしたものを毎週各自のメールボックスに投入する。

〈姉妹クラブ・友好クラブについて〉

姉妹クラブ・台北北門R Cが、来年4月1日に創立25周年記念式典を行うため、当クラブとして相当人数の訪台を企画する。(国際奉仕委員会と連携)

また、子弟交換は時期など先方と協議する。友好クラブ・松江しんじ湖R Cとは毎年何らかの交流を持ち、双方の創立記念に合わせて企画を考える。

ロータリー情報委員会

委員長	池亀武士
雑誌担当リーダー	佐々木保博
米山奨学会担当リーダー	湯山文夫
ロータリー財団担当リーダー	熊澤信行
委員 小川一雄	成田耕一
水口学	山崎正三

善を図る。

年度ロータリー情報委員会は三部門を担当致します。

月11日に起った東日本大震災の後で米山奨学会及びロータリー財団との寄付金に対してもいろいろ考
いかねば成らないかと思います。大震災の義捐金もこの災害の大きさを思うと单年度で泡利では済
い様に思いますし、委員会で協議しながら皆様のお力と、お知恵を借りなければ成らない年です。
いにして今年の委員会はメンバーに恵まれて素晴らしい委員会構成に成りました。各リーダーも独
意見を持っている人達なので良い成果が年度末には出ると思います。

、ロータリー雑誌につきましては的方に報告したい、夢計画と言うロータリーの一大転換期を迎
年で財団補助金の仕方もだいぶん変わりますのでクラブへの情報が大切な年になりますので一年宜
お願い致します。

雑誌担当…「ロータリーの友」誌は第一例会時に情報委員会と雑誌担当に渡し、会員には後日担当
会に渡す。

ロータリー財団・米山奨学会…寄付のPRはなるだけ早くから会員にお知らせする。会長方針に沿つ
形で問い合わせていく。

会 計

田中重光

年度会計の長田会員の方針を踏襲し、明朗会計目指して担当します。

編集し、プリント

当クラブとして

は毎年何らかの交

ロータリー情報委員会

委員長	池亀武士
雑誌担当リーダー	佐々木保博
米山奨学会担当リーダー	湯山文夫
ロータリー財団担当リーダー	熊澤信行
委員 小川一雄	成田耕一
水口学	山崎正三

今年度ロータリー情報委員会は三部門を担当致します。

3月11日に起った東日本大震災の後で米山奨学会及びロータリー財団との寄付金に対していろいろ考えていかねば成らないかと思います。大震災の義捐金もこの災害の大きさを思うと单年度で泡利では済まない様に思いますし、委員会で協議しながら皆様のお力と、お知恵を借りなければ成らない年です。

幸いにして今年の委員会はメンバーに恵まれて素晴らしい委員会構成に成りました。各リーダーも独自の意見を持っている人達なので良い成果が年度末には出ると思います。

又、ロータリー雑誌につきましては的方に報告したい、夢計画と言うロータリーの一大転換期を迎えての年で財団補助金の仕方もだいぶん変わりますのでクラブへの情報が大切な年になりますので一年宜しくお願ひ致します。

1. 雑誌担当…「ロータリーの友」誌は第一例会時に情報委員会と雑誌担当に渡し、会員には後日担当例会に渡す。
2. ロータリー財団・米山奨学会…寄付のPRはなるだけ早くから会員にお知らせする。会長方針に沿った形で問い合わせていく。

会計

田中重光

前年度会計の長田会員の方針を踏襲し、明朗会計目指して担当します。